

人権デーに向けて 共同声明

2021/12/09

国連人権高等弁務官事務所

12月10日の人権デーに向けて、人権専門家が共同声明を公表した。内容は以下のとおり。パンデミックによって国際秩序における公正の意味が問われ、国内・国家間で拡大する富の格差、ワクチンを含む健康へのアクセス、貧困の全般的懸念が問題になっている。平等の問題は、民主主義の空間の崩壊、過激主義、市民社会スペースの縮小、虚偽情報、不処罰と直結すると考える。各国政府はしばしば、基本的自由の制限、意思決定における透明性の制限、市民社会スペースの縮小によって危機に対処する。人権デーに当たり、多国間主義・協力・連帯の信念を新たにしたい。今年、国際社会が健康的で清潔な環境を人権であると認めたことを祝福したい。改めて各国政府・コミュニティ・企業・個人・全ての関係者に対し、全ての人々の普遍的かつ不可分の相互依存する人権を維持するよう求めたい。